

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	はぐはぐキッズ西大井
施設所在地	品川区西大井2-4-6
法人名	はぐはぐキッズ

1. 活動のテーマ

<テーマ>

色

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
園特色のアート(制作遊び)の中で様々な色に触れることが出来、子どもたちも制作活動に対して興味を示して積極的に取り組む姿が多く見られている。
制作だけでなく、玩具や絵本など身の回りの色に対しても興味を示しており、言葉を覚えるきっかけの1つともなっている。
職員も制作を行う際は意識をしており、様々な色を用意し、子どもたちが自分でその時々好みの色を選択できるような環境にしたりと準備を行うことが出来ている。

2. 活動スケジュール

0～2歳児合同制作「ジンベイザメ」
7月4日: ボディーペインティング絵具(複数種の青)
午後、飾り出し
8月7日: 夏祭りごっこ(壁面装飾として使用)

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

【環境設定】

- ・事前にジンベイザメを知れるよう、本棚に魚の絵本やジンベイザメを印刷したものを提供する。
- ・壁や床をマスキングテープで養生をし、汚れても良い環境に整える。
- ・保護者に事前に汚れても良い服装の用意をお願いする。
- ・すぐに汚れが落とせるように濡れた雑巾や清拭用タオル、お湯、ボディーソープなどを用意しておく。
- ・保育者間にて事前に活動の流れや配置位置など共有する。

【素材や道具】

- ・大きな紙にジンベイザメの輪郭のみ描いておく。絵具で紙が破れないように裏に養生テープで補強。
- ・青色系の絵具を8種。同じ青でも濃淡や緑よりの青、白よりの青、など複数種の色を器に用意。
- ・手指が汚れるのが苦手な児に対して、筆、ハケ、ローラーを用意。
- ・雑巾、清拭用タオル、お湯、ボディーソープ。
- ・ジンベイザメの出てくる絵本やジンベイザメを印刷したもの。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

0～2歳児合同でボディーパーentingにて様々な青色を使用して「ジンベイザメ」を表現。
また、床いっぱいの大きな画用紙や絵具などの素材に触れる。
手や道具（ハケ、筆、ローラー）を使用して画用紙を塗りつぶす。
完成したものは室内装飾として飾り、夏祭りごっこを楽しむ。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・活動場所に入室時、0歳児は普段と異なる部屋の雰囲気や画用紙の大きさに驚く姿もあったが、担任保育者の抱っこや傍で周りの様子や環境を眺めている。1歳児は異なる環境に期待感を持っている様子であり、絵具や道具に興味を示して「あれは何？」と言葉にしている。保育者の「画用紙になにか描いてあるね？」の声掛けで「さかなかな？」などと2歳児は考えたことを言葉にしていた。
- ・保育者に濃淡や色味の異なる青の絵具を紹介され、「これは白みたい！」「青かな？」「似てるね」などと色に関して思ったことを言葉にして表現をしていた。
- ・保育者に促されて画用紙の白い部分を塗り潰そうとしたり、筆やローラーを使用して異なる感触に集中して楽しむ姿があった。
- ・0歳児は手や足に色がつくことに驚いて涙する児や保育者の抱っこを求める姿もあったが、1、2歳児は身体に色が付くことに対しても抵抗感なく積極的に絵具に触れていた。
- ・「上手にぬれているね」「ぬりぬりできた？」と保育者に声を掛けられると、さらに意欲的に取り組む姿があった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・初めて室内養生をマスキングを使用して行ったが、準備も片付けもしやすかったのが良かった。
- ・青系の色を複数用意することで、児なりに「白に似ている」などと言葉にしなから違いに気が付いている姿が見られたのが良かった。また、塗りながらも色の混ざりも楽しむ姿があり、最後まで集中して取り組む児も多かった。保育者も一緒になって汚れながら行うことで、児も積極的に参加をすることが出来ていたと感じた。
- ・汚れることが苦手な児のためにローラーや筆を用意したことで、それぞれの方法で制作に参加をすることが出来ていたので、子どもの姿を予想して準備をしていく必要性を改めて感じた。
- ・事前に職員の位置や動き方などを共有したことで清拭やシャワーなどスムーズに介助をすることが出来たのが良かった。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	はぐはぐキッズ西大井
施設所在地	品川区西大井2-4-6
法人名	はぐはぐキッズ

1. 活動のテーマ

<テーマ>

色

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
園特色のアート(制作遊び)の中で様々な色に触れることが出来、子どもたちも制作活動に対して興味を示して積極的に取り組む姿が多く見られている。
制作だけでなく、玩具や絵本など身の回りの色に対しても興味をしめしており、言葉を覚えるきっかけの1つともなっている。
職員も制作を行う際は意識をしており、様々な色を用意し、子どもたちが自分でその時々好みの色を選択できるような環境にしたりと準備を行うことが出来ている。

2. 活動スケジュール

0～2歳児合同制作「かぼちゃ」
9月5日: ボディーペインティング(絵具(オレンジ、黄色))
10月29日: ハロウィンイベント(壁面装飾として使用)

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

【環境設定】

- ・ハロウィンイベントに向けて、本棚にハロウィンに関するイラストを提供する。
- ・絵本や歌などでハロウィンに対して期待感を持てるように導入を行う。
- ・壁や床をマスキングテープで養生をし、汚れても良い環境に整える。
- ・保護者に事前に汚れても良い服装の用意をお願いする。
- ・すぐに汚れが落とせるように濡れた雑巾や清拭用タオル、お湯、ボディーソープなどを用意しておく。
- ・保育者間にて事前に活動の流れや配置位置など共有する。

【素材や道具】

- ・大きな紙にかぼちゃの輪郭のみ描いておく。絵具で紙が破れないように裏に養生テープで補強。
- ・黄色、オレンジを8種。単色のみではなく、濃淡や色の配合を変えた黄色やオレンジなど複数種の色を器に用意。
- ・手指が汚れるのが苦手な児に対して、筆、ハケ、ローラーを用意。
- ・雑巾、清拭用タオル、お湯、ボディーソープ。
- ・ハロウィンに関する絵本や歌など。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

0～2歳児合同でボディペインティングにて様々な黄色やオレンジを使用して「かぼちゃ」を表現。また、床いっぱいの大きな画用紙や絵具などの素材に触れる。手や道具（ハケ、筆、ローラー）を使用して画用紙を塗りつぶす。完成したものは室内装飾として飾り、ハロウィンイベントを楽しむ。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・今年度の合同制作2回目となり、期待感を持って参加する児も多い。1, 2歳児は保育者の「どうぞー」の掛け声とともに「これにするー」と積極的に絵具に触れて楽しむ姿があった。
- ・絵具は「白いところが無くなるように塗ってね」の保育者の声掛けに、1, 2歳児は意識して塗りつぶす児もいた。また、画用紙に塗るよりも自分の身体に塗ったり、絵具を塗った画用紙の上を歩いて「ぬるぬるするね」と絵具の感触を肌で楽しむ姿が多く見られていた。
- ・オレンジや黄色に塗った画用紙の上に白に近い黄色で手形を押して「みてみて、手の形！」と楽しむ児を見て真似る姿も良く見られた。
- ・0歳児も2回目だったこともあり、自ら絵具に触れたり筆やローラーに興味を示している姿があった。前回よりも絵具に触れることに対して抵抗感が薄れている様子も見られ、保育者に抱っこを求める姿も少なくなっていた。
- ・壁面に飾ると保育者に「ぬりぬりしたね」「かきかきしたね」と思い出しながらやり取りをしている児もいたり、「ここ筆で塗ったんだー」「このおてては誰のかな？」と塗った時の状況や手形を押して楽しんだことなど振り返りながら保育者と会話を楽しんでいた。0歳児も指を差して保育者に知らせる児もいる。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・今年度2回目の合同制作だったため、児も始めから意欲的に取り組む姿がよく見られた。
- ・ハロウィンに対しての期待感を高めることが出来、室内装飾としても子どもの目を惹くものになった。
- ・事前にハロウィンに対して絵本などでしっかりと導入を行っていたこともあって、「かぼちゃ」と作ることを理解している様子も1、2歳児に見られていた。
- ・何枚も繋げた大きな画用紙の上を歩いたりすることが楽しかったようで、塗る姿よりも身体を使用しながら、集中して行っている姿が印象的であった。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	はぐはぐキッズ西大井
施設所在地	品川区西大井2-4-6
法人名	はぐはぐキッズ

1. 活動のテーマ

<テーマ>

色

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
園特色のアート(制作遊び)の中で様々な色に触れることが出来、子どもたちも制作活動に対して興味を示して積極的に取り組む姿が多く見られている。
制作だけでなく、玩具や絵本など身の回りの色に対しても興味をしめしており、言葉を覚えるきっかけの1つともなっている。
職員も制作を行う際は意識をしており、様々な色を用意し、子どもたちが自分でその時々好みの色を選択できるような環境にしたりと準備を行うことが出来ている。

2. 活動スケジュール

0～2歳児合同制作「暖炉」
11月6日:ボディーペインティング絵具(茶色、オレンジ)
12月23日:クリスマスイベント(壁面装飾として使用)

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

【環境設定】

- ・クリスマスイベントに向けて、本棚にクリスマスに関するイラストを提供する。
- ・絵本や歌などでクリスマスに対して期待感を持てるように導入を行う。
- ・壁や床をマスカーで養生をし、汚れても良い環境に整える。
- ・保護者に事前に汚れても良い服装の用意をお願いする。
- ・すぐに汚れが落とせるように濡れた雑巾や清拭用タオル、お湯、ボディーソープなどを用意しておく。
- ・保育者間にて事前に活動の流れや配置位置など共有する。

【素材や道具】

- ・大きな紙にレンガ模様になるようにマスキングテープを貼っておく。絵具で紙が破れないように裏を養生テープで補強。
- ・茶色、オレンジ系の絵具を8種。同じ茶色でも濃淡や黄み、白み、など複数種の色を器に用意。
- ・手指が汚れるのが苦手な児に対して、筆、ハケ、ローラーを用意。
- ・雑巾、清拭用タオル、お湯、ボディーソープ。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

0～2歳児合同でボディーパーentingにて様々な茶色を使用して「暖炉」を表現。
また、床いっぱいの大きな画用紙や絵具などの素材に触れる。
手や道具（ハケ、筆、ローラー）を使用して画用紙を塗りつぶす。
完成したものは室内装飾として飾り、クリスマスを楽しむ。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・今年度3回目の合同制作に意欲的に取り組む姿がよく見られている。特に2歳児が前日から期待感を持って過ごしており、登園時も「今日は絵の具やるんだよね！」などと楽しみにしている様子が伺えた。
- ・「今日は茶色の絵の具なの？」などと器に入った絵の具を見て、色の名前を口にしている姿も見られていた。
- ・保育者の「どうぞ」の声掛けでそれぞれが好みの色味や筆やローラーなどの道具を選択して思い思いに取り組み始めていた。3回目ということもあり、「白いところに塗るんだよね」などと意識して塗ろうとする児もいる。
- ・0歳児も始めは緊張をした表情であったが、1、2歳児が楽しそうに行っている姿を見て興味を示して絵の具に自ら触れる児もいた。絵の具に対しても抵抗感が薄れてきており、ローラー部分や筆の毛部分を握ってみたりぬるぬるとした絵の具の感触を楽しむ姿も見られた。
- ・出来上がった制作は乾いた後、室内装飾として室内に飾っている。玄関からも見える位置のため、送迎時に保護者に「ぬりぬりしたんだよ」などと話をしたり、「これを作ったの？」などと保護者と会話を楽しむ姿もよく見られた。
- ・暖炉の火を使って、キャンプごっこを行ったり、消防車の玩具で火を消そうとしたり、日中も見立て遊びの中に制作が取り込まれている様子も見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・3回目のため、準備や室内環境を整える際などスムーズに行うことが出来た。
- ・暖炉は児にとって馴染み深くないものと考えたため、クリスマス絵本やイラストで親しみが持てるように事前の準備をしっかりと行っていった。また、出来上がったものに対しては遊びの中(おままごとや車玩具)に取り入れていくことが出来るように提案していった。
- ・回数を重ねるごとに児のダイナミックさが増してきていたため、絵の具の上を小走りしたり危ない場面も増えることが予想されたので、始める前に「歩くは○、走るは×」などと児にわかりやすいように約束事を伝えている。
- ・白い部分を意識して塗ろうとする児もいたため、頻繁な声掛けは行わずにあえて見守り、思いのままに表現することを楽しめるようにしていった。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	はぐはぐキッズ西大井
施設所在地	品川区西大井2-4-6
法人名	はぐはぐキッズ

1. 活動のテーマ

<テーマ>

色

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
園特色のアート(制作遊び)の中で様々な色に触れることが出来、子どもたちも制作活動に対して興味を示して積極的に取り組む姿が多く見られている。
制作だけでなく、玩具や絵本など身の回りの色に対しても興味をしめしており、言葉を覚えるきっかけの1つともなっている。
職員も制作を行う際は意識をしており、様々な色を用意し、子どもたちが自分でその時々好みの色を選択できるような環境にしたりと準備を行うことが出来ている。

2. 活動スケジュール

0～2歳児合同制作「汽車」

2月5日:花紙を貼る(ピンク、水色、黄色、緑色)

3月18日:お楽しみ会(壁面装飾として使用)

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

【環境設定】

・広い部屋で行う。

【素材や道具】

- ・花紙(ピンク、黄色、水色、緑色)用意。
- ・汽車のイラスト、汽車の出てくる絵本(せんろはつづく)
- ・各色の画用紙を繋げて汽車の土台。
また、両面テープを花紙を貼る部分に貼っておく。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

0～2歳児合同で花紙(ピンク、青、黄色、緑色)を使用して「汽車」を表現。
また、床いっぱいの大きな画用紙や花紙などの素材に触れる。
千切ったり、丸めたりしたものを両面テープを貼った画用紙の上に貼る。
完成したものは室内装飾として飾り、お楽しみ会を楽しむ。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・部屋に準備された汽車の土台をみて「ピンクあった!」「これは緑?」などと色の名前を口にしていた。
- ・「好きな色の汽車に花紙を貼ってね」の声掛けで各々好みの色のコーナーに向かって花紙に触れていた。
- ・2歳児は小さく丸めて「おにぎりみたい!」といくつも丸めて貼っていた。
- ・1歳児は1枚ずつ取るのが難しい様子であったため、保育者の援助を受けながら行っていた。花紙をくしゃくしゃにして「みて。できたよ」と保育者に話しかけていた。
- ・0歳児は花紙の感触を楽しんでおり、そのまま貼る児や貼ったものを再度剥がそうと試みる様子も見られた。
- ・「次は黄色にしよう」など行いながらも色のコーナーを変えながら取り組んでいた。
- ・両面テープ部分に自分の手が張り付く感覚がおもしろかったようで「くっついちゃったね?」と児同士で話していたり、保育者に共有する姿が見られた。
- ・出来上がった制作を眺めながら、「青貼ったんだ!」「○○はピンクにしたの」などと話しており、0歳児も指差しをしたり「ぽっぽ!」などと知っている単語で行ったことを伝えようとする姿が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・合同制作を行う前に「汽車」の出てくる絵本の読み聞かせを行うことでイメージが湧くように導入をしっかりと行っていった。
- ・制作を行いながらも「ピンクにするね！」などと色を変えながらそれぞれが楽しむ姿が見られていたため、様子を見守り、好きな色を使用して制作を楽しめるようにしていった。
- ・貼ったものを剥がしている児に対しても興味関心を持っておこなっていることのため、貼りにくくなっている箇所にも再度両面テープを貼るなどの援助を行うことでやりたい気持ちを満たせるように考慮した。
- ・ボディペインティングよりも早めに飽きを見せる児がいたため、保育者間で声を掛け合って終わりにする児とまだ行う児とのグループに分かれて過ごすことが出来たので、児にとっても負担がないように留意していった。
- ・出来上がったものに対しては児の写真を印刷して汽車に乗せたことで、さらに児の興味関心を引くことが出来た制作となった。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	はぐはぐキッズ西大井
施設所在地	品川区西大井2-4-6
法人名	はぐはぐキッズ

1. 活動のテーマ

<テーマ>

色

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
園特色のアート(制作遊び)の中で様々な色に触れることが出来、子どもたちも制作活動に対して興味を示して積極的に取り組む姿が多く見られている。
制作だけでなく、玩具や絵本など身の回りの色に対しても興味をしめしており、言葉を覚えるきっかけの1つともなっている。
職員も制作を行う際は意識をしており、様々な色を用意し、子どもたちが自分でその時々好みの色を選択できるような環境にしたりと準備を行うことが出来ている。

2. 活動スケジュール

4月～3月 1、2歳児

◎日常の中で「色」を知る。

・色を知る・色を見る・色を集める・色の名前を言ってみる・色を選ぶ

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

【環境設定】

- ・様々な色の折り紙を用意し、両面テープを剥がして壁や床などの部屋中貼る
- ・カラーボールを使用する際は多めに用意をし、どの児も複数個手にすることが出来るようにする
- ・ビニール袋を提供することで集める遊びが展開出来るようにする
- ・リトミックスカーフの下に入って色の違いを楽しめるようにする
- ・新聞紙やペットボトルにカラーポリ袋を巻いたものを見立ててゲームを行う

【素材や道具】

- ・折り紙・カラーボール、ビニール袋、ビニールプール・リトミックスカーフ
- ・新聞紙、ペットボトル、カラーポリ袋、口をあけた動物の作り物

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・日頃から保育者も積極的に色の名前を口にしていき、「赤」「青」などの名前を知らせていく。
- ・カラーボールや折り紙を通して同じ色を集めたり、好みの色を見つけるなどの発見を楽しむ。
- ・大判のリトミックスカーフの下に入って色を眺めたり、他児と一緒に遊びを楽しむ。
- ・カラーポリ袋を巻いたものを野菜や果物に見立てて動物に食べさせる見立て遊びを楽しむ。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・折り紙やカラーボールを使用した遊びでは保育者を真似て「あお」や「あか」など口にする姿が見られた。同じ色を集めて保育者に見せたり、「これは？」と色の名前を問う姿も見られている。ビニール袋を提供すると「きいろあった」と同じ色を集める遊びを展開させる姿も見られた。
- ・大判のリトミックスカーフを使用した遊びでは「きいろ！」「あか！」などと色の名前を言いながらスカーフの下に入って楽しんでた。初めての体験に苦手な児もいたため、保育者の膝の上で少し離れた場所から参加し、それぞれに負担のないように行っている。「これはなにいろ？」と保育者に聞かれると赤、青、黄色、緑、ピンクあたりは正しい色を言うことが大抵の児が行えるようになった。
- ・ペットボトルや丸めた新聞紙にカラーポリ袋を巻いたものを複数個用意し、木や土に見立てたものに貼っておいた。保育者は野菜や果物の名前は伝えずにいると「これはオレンジだからみかんかな？」「りんごみたい」などと色や形を見て野菜や果物に見立てることが出来ていた。「うさぎさんにあげてみるね」など見立てたものを動物の口の中に入れて遊びを楽しんでいた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・1年を通して遊びや制作の中に“色”を取り入れていき、保育者が積極的に色の名前を口にしていすることで児も自然と覚えていくことが出来たように感じる。好みの色が出てきた際には制作を行う際も自分で画用紙の色を選択出来る環境にしたり、その時の自分の好きな色を見つけながら楽しめるように職員も意識しながら環境を整えることが出来たのが良かった。
- ・戸外活動時なども街の景色の中で見つけた色を保育者や友達に指さして共有しようとする姿が見られたり、日常の中でも“色”を探し見つけることを楽しむ児も見られたのが面白かった。
- ・今年度で“色”のテーマを終える予定ではあるが、今後も子どもの好きなものを見つけて広げていくことが出来るように準備を行い、環境を整えていきたい。